

SC00 社、米国での市場獲得と、販路拡大に向けて 米国パン製造販売店と大型高級食料品店で販売開始

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」などの専門店を全国に150店舗以上展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）の完全子会社 St. Cousair Oregon Orchards, Inc.（サンクゼールオレゴンオーチャーズ）（以下 SC00 社/本社：米国オレゴン州ニューバーグ市/代表取締役社長：久世直樹）は、2018年9月7日（金）より SC00 社で自社製造した商品を自社ブランド名「KUZE FUKU&SONS」で小売り販売を開始いたしました。SC00 社の自社ブランド商品が米国の小売店に並んだのは初めて。記念すべき第1号店は、パン製造販売店「OYATSUPAN Bakers」（米国オレゴン州ビーバートン市/創業者：堀江裕之氏）で、さらに9月19日（水）からは、米国の大型高級食料品店「Berkeley Bowl（パークレーボウル）」（米国カリフォルニア州パークレー市/Owner：Diane Yasuda）でも SC00 社の自社ブランド商品の販売をスタートさせました。

「OYATSUPAN Bakers」にて販売開始

「OYATSUPAN Bakers」は SC00 社のあるオレゴン州の中でも、世界的に有名なスポーツブランドメーカーの当社近隣にあるパンの製造販売店。日本の大手パンメーカーで25年間パンを焼いていた東京出身の堀江氏が2016年に開業しました。抹茶やあんこなど、日本独特の素材を用いて、あんパンやメロンパン、カレーパンというような、日本でおなじみの菓子パンを中心に販売しています。オレゴン州で近い時期にオープンした日系企業同士、話題になっている者同士ということで注目していたところ「OYATSUPAN Bakers」からお誘いをいただきました。一緒にお互いを盛り上げていこうと取り組みがスタート。「OYATSUPAN Bakers」のパンに合うジャムや、イートインでパンと一緒に楽しめる飲み物に使っていただいています。今後はピザソースとしてパスタソースの導入や、「OYATSUPAN Bakers」が出店しているポートランド近郊のファーマーズマーケットにて、パンと一緒に SC00 社商品の販売も検討していただいているところです。「OYATSUPAN Bakers」での販売は SC00 社ブランド「KUZE FUKU&SONS」の発信拠点として位置付けし、常勤のセールス部隊が小回りの利いた営業活動を行い、ポートランド周辺にある50~100店舗のスーパーに拡販していきたいと考えています。

「OYATSUPAN Bakers」での発売商品

飲むお酢ゆず（濃縮）/\$8.95、飲むお酢ゆず/\$5.95、ジャム（いちご、ラズベリー、ブルーベリー、マリオンベリー、マリオンベリー種なし）\$5.95、ジャム（アップルシナモン、オレンジマーマレード）\$4.95



ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。

「Berkeley Bowl」にて販売開始

サンクゼールは過去 20 年に渡り、北カリフォルニア州（サンフランシスコ、バークレー、ナパバレーなど）の市場視察を毎年行ってきました。その中の一つ「Berkeley Bowl（バークレーボウル）」は、2 店舗のみと出店規模は小さいものの、他のスーパーにはない品揃えと圧倒される陳列ボリューム、そして時代に先駆けてオーガニック商品を取扱い、オーガニック文化発祥の地の一つであるバークレーの文化発信地となって消費者をリードしてきました。それ故に来店するのは感度の高い高所得者層、いつでも店舗は賑わっていることに注目し、何年も前から私たちは「将来は Berkeley Bowl に商品を導入したい」と夢を持っていました。

サンクゼールは、SC00 社を設立する半年前、2017 年 1 月に開催された食品展示会「Winter Fancy Food Show」（米国カリフォルニア州サンフランシスコ）に JETRO（日本貿易振興機構）の枠で出展しました。この展示会は米国西海岸の小売店、レストランのシェフ、食品問屋バイヤーとサプライヤーのマッチングイベントです。そこにバイヤーとして参加されていた「Berkeley Bowl」のオーナーである Daine Yasuda 氏（日系アメリカ人 3 世）に、SC00 社の「飲むお酢」や「ゆずみそドレッシング」などを高くご評価いただきました。しかし、日本で製造した商品を米国で流通させることは、物流コスト、関税などが追加でかかり、割高になってしまうこと、また日本人に合わせた少量サイズなどが米国市場に合わず、当時は商談が進みませんでした。

2017 年 5 月、オレゴンに私たちの製造拠点ができたことで現地生産による大幅な卸価格の低減が可能になりました。さらに現地に開発部門を設け、米国のマーケットが求めるサイズ感や嗜好に合う味わいなどを実現できたことによって「Berkeley Bowl」との商談が改めてスムーズに動き出しました。サンクゼールとしては 2 年越しの商談成立であり、非常に嬉しいニュースです。



「Berkeley Bowl」での発売商品

飲むお酢ゆず（濃縮）/ \$ 8. 99、飲むお酢ゆず / \$ 5. 99、ゆずみそドレッシング / \$ 7. 99

10 月には、ザクロ、ぶどう、クランベリーなどのオーガニックの飲むお酢を各 2 種（ストレート・濃縮）追加導入予定。その後もオーガニックパスタソース、オーガニックジャムなどのカテゴリーも追加し、単発商品卸ではなく、SC00 社一式で、ブランドでのコーナー展開を狙います。

St. Cousair Oregon Orchards, Inc. について

サンクゼールは2015年3月から海外担当役員の久世直樹が米国西海岸に拠点を移したことをきっかけに、JETRO 長野支店、JETRO 本部の協力を得て米国の小売及び業務用食品製造業の市場調査を続けました。2017年4月、オレゴン州に旧 Berry Noir 社から30エーカー（3.6万坪）の農地とコンポート、ジャム、ジュース、業務用ドレッシングなどの加工工場（1000坪）を資産買収、顧客と同時に従業員も引き継ぎました。従業員はサンクゼールの経営理念に共感し、勤務継続を決めてくださり、同年4月29日（日本時間）に両社の経営幹部、州政府関係者、ポートランド日本領事館関係者の出席で、資産買収に関する基本契約書の調印式とクロージングパーティーを開催。5月1日はサンクゼール幹部出席の入社式を行い、翌2日には初回生産をスタートさせました。同年6月からは日本向け商品の「飲むお酢」「ブルーベリーコンポート」「トラディショナルリッチジャム」「パスタソース」の製造を行い、日本国内店舗での販売を開始しています。2018年6月には、米国向けの自社ブランド「KUZE FUKU&SONS」を立ち上げ、翌7月には米国内のラーメン店へ「風味豊かな万能だし」の業務用卸販売を開始しました。

今回「OYATSUPAN Bakers」と「Berkeley Bowl」での販売を皮切りに、今後は市場を北のシアトルにも広げていきます。レストラン、バーやホテルで使用される業務用商品についても大きなマーケットがあることを確信していて、ジャム、ドレッシング、飲むお酢、万能だしなど、業務用食品問屋を介して2019年春までに販売を開始させたいと考えています。

SC00社は「Berkeley Bowl」が所在するカリフォルニア州シリコンバレーに1名の常駐米国人営業担当を配置しました。「Berkeley Bowl」での試飲試食デモへの積極参加に加え、近隣の高付加価値型スーパーマーケットやIT企業の社内食堂、カフェやレストランなどへ営業活動の場を広げていきます。シリコンバレーは、世界中から人やモノ、資金が集まる場所。そして世界への情報発信力が大きいため、「Berkeley Bowl」を起点に他の高付加価値型スーパー、IT企業、レストランなどへの導入が進めば、SC00社のブランドを体験したお客様によってSNSを通してブランドを発信していただけることと期待しています。

日本の人口は今後縮小していき、逆に米国人口は右肩上がり。かつ、米国は日本の加工食品マーケットの2倍以上の市場と魅力的なマーケットと認識していることから、今時点から販売強化を行っていきます。将来は西海岸にとどまらず、ニューヨークを起点として東海岸、シカゴを起点とした中西部まで広げていきたいと考えています。

米国の顧客層（特に西海岸、東海岸）は、健康志向・自然志向が強く、新しいものにも積極的に興味を示す「ミレニアル世代」。この「ミレニアル」と呼ばれる1981～1997年生まれ世代の人口が、これまで米国で最大人口であったベビーブーマー（1946～1964年生まれ）を2015年に上回りました。同時に米国の加工食品市場においても、大手食品メーカーの寡占化によって続いていた硬直的な競争環境が、2010年頃を境に中小の新興企業が数多く台頭し始め、大手のシェアを奪いながら急成長する傾向が見られるようになりました。これはまさに「ミレニアル世代」が市場を牽引し始めたということと捉えています。彼らはブランドに対して「個人的な関係性」、「繋がり」、さらにブランドの持つ「ストーリーの共感」を求めていると言われています。SC00社では当社ブランドや商品についてお客様に丁寧に伝えるべく、継続的に商品紹介などSNSも活用しながら図っていきたいと思います。

ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。